

令和2年度 第13回 しあわせ信州ご当地体操コンテスト 講評

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて開催を断念せざるをえなかった令和元年度の小布施大会から1年が経過しました。未だ感染症は収束しませんが、With コロナで工夫しながら様々な取り組みが進められる中で、このコンテストも、実行委員会で企画を検討し、共催団体の長野県と日本健康運動指導士会長野県支部の全面的な協力を受けて、今年度は無事に開催することができました。

こうした状況下でも、地域を元気にするための体操づくりとその普及に果敢に取り組み、コンテストにエントリーして下さった11団体の皆様、そして、11作品をご視聴いただき、コンテストを盛り上げて下さった数多くの方々に、まずもって心より御礼申し上げます。

これまでは会場開催で熱気溢れるコンテストとして大いに盛り上がりましたが、今回は、会場開催が困難なマイナス面を逆手にとり、より多くの方々にご当地体操を動画でご覧いただけるWEB開催が実現できました。今までに無い形で今後につながる大きな一歩となり、関係者一同、大変喜んでおります。

以下に、審査結果および閲覧状況等の情報を基にして講評をまとめましたのでご一読ください。

なお、それぞれの体操については、審査員による各体操への個別のコメントをご覧ください。

【審査方法について】

ご当地体操の審査は、次の3つの観点をそれぞれ10点満点とし、5人の審査員（医師、県職員、健康運動指導士）がそれぞれ独立して採点を行い、その総得点を集計・比較する形で公正に評価しました。

<審査基準の3つの観点> ※映像や演出の質は審査には加味されません。

- ① 地域への定着度・普及度（実際にどれだけ多くの方が実践しているか？）10点
- ② 馴染みやすさ・おこないやすさ（気軽に行え、誰でもなじみやすい内容になっているか？）10点
- ③ 効果度（実際にこの体操を行ってどんな効果が現れているのか？）10点

【全体的な評価について】

審査基準①「地域への定着度・普及度」については、ほとんどの体操が「8点：地域で周知・普及されており、習慣的に実践されている」に近いかそれ以上の評価でした。

次に、審査基準②「馴染みやすさ・おこないやすさ」については、「8点：選曲も良く、動作も曲に合っているが、若干覚えにくい」を下回る評価の体操がほとんどなく、エントリーされたご当地体操では、気軽に行え、誰でもなじみやすい内容になるよう、十分に工夫されていました。

最後に、審査基準③「効果度」についても、ほとんどが「8点：動かされた部分への効果が十分期待できる」に近いかそれ以上の評価であり、全てのご当地体操が運動効果の面でも質の高い内容でした。

【波及効果について】

審査結果を集計した2021年2月25日時点で、11の体操動画の総視聴回数の合計は3846回に達していました。この視聴回数を公開してからの日数で割ると、それぞれの体操が1日当たり8.8回視聴されている計算になります。コンテストをWEB開催したことで、より多くの方々にご当地体操の素晴らしい取り組みを伝えることができたことは、今までにないご当地体操コンテストの波及効果となりました。

以上